

平成 26 年 12 月 9 日

一般社団法人

日本ジェネリック医薬品販社協会

薬価調査・改定の頻度変更の場合における流通への影響

今回の「価格妥結状況確認書」及び「品目リスト」の作成は、時間・経費・人的等の負担が非常に大きく大変でありました。

この事は、薬価の頻回改定についても同じことが言える事であり、薬価の頻回改定を不安視している会員企業が多くありました。

妥結率のアンケート調査表に、薬価の頻回改定に対する意見についても記載欄を設けており、次のような意見が寄せられました。

- 薬価改定前後での買い込み、在庫絞りがおき、安定した流通量の乱れ・急配達などが予想されます。
- 薬価改定時、3月～9月にかけてMSは価格設定、妥結、システム反映など莫大な労力が必要となります。通常業務時間内でこれらの作業を行う余裕がないため、休日を返上しての作業、夜間作業がどうしても必要になっています。
MS業務として安定的な配送、的確な情報提供、情報収集に悪影響を及ぼす可能性もあります。